

FMU にじいろ通信

第3号 2022年12月発行

コロナ感染症は福島県内でも第8波が到来し、まだまだ安心できない状況にあります。学内で開催するイベントも感染対策の一環としてWeb方式を併用しております。主催者及び参加者それぞれが感染対策を講じながらの開催がしばらくは続きそうです。

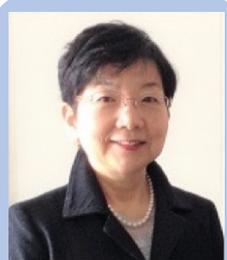
全員参加型FD講習会 ダイバーシティ推進講演会を開催

11月2日(水)に「令和4年度ダイバーシティ推進講演会」を会場及びWeb参加方式により開催し、153名が受講されました。

講師に、東京大学大学院教授隠岐さや香先生及び日本赤十字看護大学名誉教授武井麻子先生をお招きし、隠岐先生からは「**ジェンダード・イノベーションがひらく可能性—インターセクショナルリティを踏まえた研究の未来**」と題して講演していただきました。講演では、研究内容そのものにダイバーシティを取り入れること、従来ジェンダーを意識してこなかった分野にセックス/ジェンダー分析を取り入れ、マイノリティが持っていた関心をより学術に活かしていくことなど説明していただきました。武井先生からは「**ひと相手の仕事はなぜ疲れるのか—個人と組織の視点から**」と題して、医療現場においてメンタルヘルスの相談に乗っている経験から様々な視点を紹介していただきました。



隠岐さや香先生



武井麻子先生

参加者からは、「ジェンダー/セックスについて興味深い話が聞けて良かった。自分の中にも知らず知らずのうちにバイアスがある事に気が付いた。もっと、学ぶ必要があると思った。」や「"ジェンダードイノベーション"や"共感疲労"など、新しい知識や情報をわかりやすく解説いただき、大変勉強になった。自身のストレス対処法や職場環境を整えるためにも役立つ有益な話だった。」などの感想が寄せられました。



保健科学部、医学部、会津医療センターでFMUカフェ開催

11月から12月にかけて、各学部、会津医療センターにおいてFMUカフェが開催されました。

11月24日(木)に、保健科学部(福島駅前キャンパス 1階エントランスホール)で開催され26名の教職員・学生が参加されました。(写真:左)



保健科学部



医学部



会津医療センター

12月12日(月)には、医学部(光が丘キャンパス第一臨床講義室)で開催され、33名の教職員・学生が参加されました。小宮ひろみダイバーシティ推進室長から女性医師・研究者の在籍比率の現状について報告があり、キャリアアップを目指した曼荼羅シートの活用法の紹介や山下俊一副学長(写真:中央)から「調和ある多様性の創造とは」と題してご講演いただきました。

12月15日(木)には、会津医療センター(第4会議室)で開催され、20名の教職員が参加されました。講師の小宮ひろみ推進室長から「ダイバーシティ推進室が行っている支援の積極的な活用について」と題して説明があり、座談会形式にて活発な質疑が交わされました。(写真:右)

キャリアアップセミナー(11/30)を開催

11月24日(木)に「FMU キャリアアップセミナー」を開催しました。本セミナーはWebによるオンラインセミナーとなり、61名の教職員、大学院生、学生が参加されました。講師には衛生学・予防医学講座准教授各務竹康先生(写真)をお迎えし、「**いまさら聞けない基礎統計学3 ～初めての多変量解析～**」と題して、基本的な多変量解析の仕組みについてご説明いただきました。



講演では、「解析の対象データが多変量解析に耐えられるかどうか」や「デザイン段階で多変量解析をイメージして情報収集を行うこと」また「最初に実施する際には、必ず誰かの指導を仰ぐこと」などアドバイスしていただきました。参加者からは「書籍に掲載されていない実践に沿った事項を学ぶことができた。」「多変量解析を分かり易い言葉で説明して頂き理解が深まった。」「難しいと感じていた多変量解析について学ぶことができ、挑戦してみようと思った。」などの意見が寄せられ、有意義なセミナーとなりました。

◆用語解説◆

『アンコンシャスバイアス』

アンコンシャスバイアスとは、「無意識のうちに“こうだ”と思う」こと。日常にあふれていて、誰にでもあるものです。日本語では、「無意識の思い込み」「無意識バイアス」「無意識の偏見」などとも表現されています。無意識がゆえに、完全になくすことはできないものの、「アンコンシャスバイアスに気づこう!」と意識することで、モノの見方が変わったり、とらえ方が変わったり、他の可能性を考えてみようと思えたり、一歩踏み出してみようという勇気ももてたり、一歩踏みとどまってみることができたりといったように、様々な変化がおとずれます。(出典:一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所HP)



お知らせ

女性医師・研究者のキャリア形成を考える 座談会カフェ

- 日時 令和5年1月13日(金) 17:00~18:00
- 場所 8号館5階S507
- 講師 麻醉科学講座 助手 花山千恵先生
- テーマ 「子育て医療者の家庭時間の使い方」

FMUキャリアサポート交流会

- 日時 令和5年1月30日(月) 16:40~18:00
- 場所 8号館1階S101
- 講師・テーマ
- (1)脳神経外科学講座 講師 岩楯兼尚先生
「家族円満の秘訣、少子化対策、
地方医療の活性化に向けて」
- (2)脳神経外科学講座 講座主任 藤井正純先生
「山を登る一脳神経外科医として
歩んだ道のりと展望」

FMU看護学部カフェ

- 日時 令和5年2月1日(水) 14:30~15:30
- 場所 8号館3階S310
- 講師 母性看護・助産学部門 教授
篠原好江先生
- テーマ 「セクシャル・マイノリティ」

「研究支援員の配置に係る要望調査」 のご案内

本学ではライフイベント(出産・育児・介護・看護等)を抱えた教員の研究支援を行っております。令和5年度、上半期配置分の要望調査を行います。

■対象者

本学に所属する助手以上の常勤教員のうち、本人が以下のいずれかの要件を満たすもの。

- ①本人もしくは配偶者が妊娠中
- ②家庭において小学校6年生までの児童の養育者
- ③同居・別居に問わず要介護認定を受けている親族の介護者
- ④その他、上記に準ずる(家族の看病をしている等)状況にあること

■支援期間

令和5年4月1日 ~ 令和5年9月30日

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別・立場に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指しております。

福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel: 024-547-1657 (内線: 2807) / HP: <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>
ダイバーシティ推進室長 小宮 ひろみ/コーディネーター 橋本/渡邊